

< 謹 告 >

主催：JABM・日本ボンド磁性材料協会（旧・日本ボンド磁石工業協会）

2015 JABM 新春公開セミナー 『ボンド磁石開発の歴史を俯瞰する』

JABM協恒例の新春公開セミナーでは、新春にあたり新戦略を勘考される際の、ヒントになる情報を発信したいと考えています。ボンド磁石は焼結磁石に比べて磁力は低いが、形状自由度が大きく薄肉リング状など多様な形状が精度良くできること、成形体に割れ欠けが生じにくいこと、シャフトとの一体成形が可能であり芯ブレを少なくできることなどの特徴があり大きな市場を形成するに至っている。特に今回の講師の一人である下田氏は2-17系材料で高保磁力化を世界で初めて実現した立役者であり、その開発秘話は材料開発において貴重であり、是非皆さんに聞いて頂きたいと思えます。

本セミナーでお二人の講師から学び、事業戦略のご参考にしていただければ幸いです。経営責任者の皆様のみならず、将来を担う若手の方も勉強と人脈づくりを兼ねてご遠慮なく参加してください。

日 時：2015年1月9日(金) 講演会：14:00～16:00

賀詞交歓会：16:15～17:45

場 所：ホテル ラングウッド（JR日暮里駅南口徒歩2分）☎03-3803-1234

地図：<http://www.hotellungwood.com/access>

参加費：会 員：無料、 非会員：5,000円（賀詞交歓会・会食代を含む）

申 込：http://jabm.la.cocacn.jp/registration_seminar_jp.html

プログラム 総合進行 JABM企画委員長 石田 知久（株）メイト

開会挨拶 JABM会長 芳賀 美次（アクテム代表）

1	14:00 ～ 15:00	芳賀 美次 氏 （日本ボンド磁性材料協会会長 アクテム代表） 「ボンド磁石進展の歴史と応用製品例」 ボンド磁石の研究は、1934年頃に始まったと言われている。それから80年、世界でボンド磁石はどのように進展してきたか歴史をひもといてみたい。日本の恵まれた環境でその進展を支えた革新的技術開発の数々、ボンド磁石の地位を確実にした希土類ボンド磁石の歴史、さらにボンド磁石の歴史と共に歩むJABM発足当時にもふれる。
2	15:00 ～ 16:00	下田 達也 氏 （北陸先端科学技術大学院大学 教授） 「Sm₂Co₁₇系高保磁力合金とボンド磁石開発秘話」 Sm ₂ Co ₁₇ 高保磁力合金は、時計用ボンド磁石を開発する中で発見された。講演では、2-17系高保磁力合金の発見と開発、そして量産に際して遭遇した思わぬ技術課題(柱状晶合金)に関して述べる。この合金は保磁力機構がピニング型でボンド磁石に最適で、時計用以外に瞬く間に用途が広がり、メカトロニクスの発展に大きく貢献した。講演では、モータ用ボンド磁石と精密モータの開発にも触れる。最後にエネルギー問題において磁石の果たす役割に関して講演者が経験したことを述べる。

そして、16:15～17:45 **賀詞交歓会**

6F 彩林

以上